

第3号様式（第6条第1項関係）

市長	副市長	部長	課長	主幹・副主幹	主査・主査補	班員
付議・報告部課						

令和3年5月27日

会議結果報告書（行政経営戦略会議）

1 日時及び場所

令和3年5月27日（木）午前9時30分～ 本庁舎4階大委員会室

2 出席者

企画政策課 池内課長、武藤主査、多納主任主事、中村主事補
 公共施設マネジメント課 鈴木課長、落合副主幹

3 件名

令和3年度において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する事業について

4 会議結果

案のとおり決定する。
 一部修正の上、決定する。
 継続して検討する。
 案を否決する。
 報告を了承する。

5 会議内容

【主な質疑】

- ・対話支援システムとはどういうものか。
 →主に窓口業務において、事務所側にマイクを、来庁者側にスピーカーを置き、職員の声の周波数が変換され、高齢者等耳が聞こえにくい人に対して、通常のスピーカーのように音量を大きくすることなく聞こえやすくするもの。
- ・効果はどうか。
 →すでに導入している自治体によると効果があるとのことである。
- ・空気清浄機は各センター1台だが、運用の仕方はどう考えているか。
 →センターは感染防止が図れているが、通常よりも来場者が多くなるのが想定される場合などにおいて補完的に使ってもらうことを想定している。

（結論）

- ・付議のとおり対象事業を決定する。

備考 会議内容を簡潔に記載すること。

付議書(行政経営戦略会議)

部課名 企画財政部 企画政策課

件名	令和3年度において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する事業について							
現状・課題	市では、令和2年度から、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(以下、「交付金」という)を活用し、感染拡大防止に係る事業や、感染拡大の影響により経済的負担が増加している市民等への支援に係る事業、「新しい生活様式」やポストコロナを見据えた事業を実施している。 令和3年度においても、感染拡大や市民等への影響、今後の社会環境の変化に対応するため、さらなる取組が求められる。							
付議事案	目的	交付金(補正予算計上可能額145,374千円)を活用し、新型コロナウイルス感染拡大防止や影響を受けた市民等の支援、コロナ後の社会環境の変化に対する整備を進める。						
	対応方策	以下の事業を追加で実施する。(カッコ内は令和3年度概算事業費) 【付議事業】 ⑮公共施設等感染症対策(備品整備)(10,630千円) 【(参考)決定済み事業】 ①議会におけるタブレット端末の導入(4,000千円) ②白井市出産育児応援給付金支給事業の継続(33,564千円) ③コロナ禍における市内保育所等への新卒保育士等の就労支援(500千円) ④新型コロナワクチン接種における移動支援事業(その3)(2,368千円) ⑤学習用端末に係る持ち帰り用充電器の購入(16,903千円) ⑥小中学校の消毒作業等を行う会計年度任用職員の雇用(14,826千円) ⑦小中学校電子図書館の導入(500千円) ⑧Zoom体験・ステップアップ講習会開催(1,350千円) ⑨中小企業支援金(32,585千円) ⑩白井市地域公共交通支援金(1,400千円) ⑪農産物安全・安心対策(3,373千円) ⑫白井市新型コロナウイルス感染症関連失業者等緊急雇用奨励金(3,805千円) ⑬保育所等・放課後児童クラブ(学童保育所)における新型コロナウイルス感染症対策(14,500千円) ⑭新型コロナウイルス感染症PCR検査助成事業の対象者の拡大(6,000千円) このほか、公共施設や事業等において予備費等により新型コロナウイルス対策に要した経費、特別会計における減免等や一部事務組合における感染対策に対する一般会計からの繰出金等や、既に一般財源を基に計上済みの事業のうち、交付金の対象となるものについても活用する。 なお、各付議事業の事業費総額が交付金の計上可能額を超過するが、市にとって必要な事業であることに加え、各事業費が概算額であることや執行残が生じる可能性があることから実施することとする。						
論点(決定を要する事項)	交付金を活用して行う事業について							
部内会議や関係課等との調整結果(主な意見・懸案事項)	予算措置については、令和3年第2回市議会定例会において補正予算を提出する予定であるため、決定後、金額をより精査するなど、速やかに準備を進める必要がある。 事業が決定した後も国県の動向には注視が必要である。							
スケジュール	令和3年6月 令和3年第2回市議会定例会に補正予算案提出 補正予算議決後、順次事業に着手							
	項目	有無	方法(時期)		項目	有無	方法(時期)	
	条例規則	無			報道発表	有	定例記者会見(R3年6月)	
	議会説明	有	議員全員協議会(R3年5月)		広報・HP等	有	広報・HP(各事業による)	
	市民参加	無						
付議書公表	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分非 <input checked="" type="checkbox"/> 時限非 (議員全員協議会 まで)							
参考情報	関係法令等							
	関係課	議会事務局、公共施設マネジメント課、健康課、子育て支援課、保育課、障害福祉課、高齢者福祉課、学校政策課、教育支援課、市民活動支援課、産業振興課、都市計画課						
	事業費(概算)	総額146,304 千円		(うち特定財源		145,374 千円)		
	カテゴリー	年代	全ての年代	場所	市内全域	目的	その他	手段

付議書(行政経営戦略会議)

部課名 総務部公共施設マネジメント課

件名	⑮公共施設等感染症対策(備品整備)							
現状・課題	<p>令和2年度において、窓口用のロールスクリーンや運動公園管理棟へのサーマルカメラの設置など、公共施設における新型コロナウイルス感染の防止に必要な整備を進めてきた。</p> <p>一方で、各課の窓口において市民等に應對する際に、マスクやロールスクリーンなどにより声が聞き取りにくい状況の中、個人情報保護の観点から、音量に配慮するなど伝え方の工夫が必要となっていることに加え、令和3年度においても、変異株の流行などにより様々な年代への感染や感染による重症化が懸念されており、市民の安心・安全確保に向けてさらなる取組が求められる。</p>							
付議事案	目的	新型コロナウイルス感染防止に必要な機器や窓口での対話を支援する設備を整備することにより、安心・安全に公共施設を利用できる環境を整える。						
	対応方針	<p>以下の機器等を購入し、公共施設に設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーマルカメラ・顔認証検温機 5台(内訳:市役所2台 保健福祉センター1台 図書館1台 出先センター各1台計8台) ・空気循環式紫外線清浄機 35台(内訳:文化センター9台 市役所10台 保健福祉センター5台 出先センター各1台計8台 貸出機3台) ・窓口対話支援システム 15台(内訳:市役所9台 保健福祉センター3台 図書館1台 貸出機3台) 						
論点(決定を要する事項)	上記機器等の整備の可否について							
部内会議や関係課等との調整結果(主な意見・懸案事項)	利用に当たり、利用方法、貸出方法などのルールを策定し、適正な管理体制とすること。							
スケジュール	<p>令和3年6月3日 一般競争入札公告</p> <p>令和3年7月1日 開札</p> <p>令和3年7月14日 契約締結(予定)*</p> <p>* 令和3年第2回定例市議会において補正予算が議決された場合契約締結とする。</p>							
	項目	有無	方法(時期)		項目	有無	方法(時期)	
	条例規則	無			報道発表	有	定例記者会見(R3年6月)	
	議会説明	有	議員全員協議会(R3年5月)		広報・HP等	有	広報・HP(各事業による)	
	市民参加	無						
	付議書公表	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分非 <input checked="" type="checkbox"/> 時限非 (<input type="checkbox"/> 議員全員協議会 <input type="checkbox"/> まで)						
参考情報	関係法令等							
	関係課							
	事業費(概算)	10,630 千円 (うち特定財源		10,630 千円)				
	カテゴリー	年代	全ての年代	場所	市内全域	目的	健康・福祉	手段